

平成 30 年 1 月 29 日

独立行政法人福祉医療機構

NPO リソースセンター長 茂木 正宏

NPO 振興課長 福井 正崇

(電話) 03-3438-9942 (FAX) 03-3438-0218



平成 29 年度 社会福祉振興助成事業 事業評価報告書の公表について

独立行政法人福祉医療機構（以下、WAM）では、福祉制度の狭間に対応するNPO団体などの民間福祉活動を助成金で支援する社会福祉振興助成事業（以下、WAM助成）を行っています。また、WAM助成は、事業評価に取り組むことで、事業の改善や優良事例の普及を図って参りました。

今般、平成 29 年度に実施した助成事業の評価について、審査・評価委員会において「事業評価報告書」が取りまとめられましたので、ここに公表いたします。

1 WAM助成の実績及び評価の概要

- 平成 28 年度は 125 件の事業に助成し、支援対象者延べ 133,993 人に支援が実施されました。
- 事業評価の結果、9 件が「特に優れた助成事業」として評価されました。
- 平成 27 年度事業 155 団体に実施したフォローアップ調査では、助成期間終了後も約 9 割の事業が継続され、連携団体数は平均 2.6 倍に増加していました。

平成 28 年度WAM助成実績

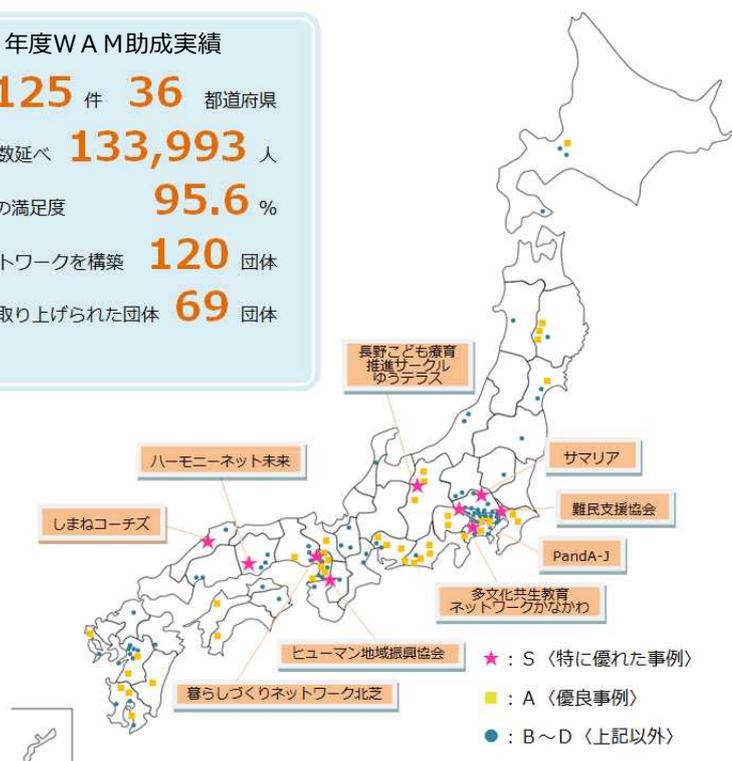
助成件数 **125** 件 **36** 都道府県

支援対象者数延べ **133,993** 人

支援対象者の満足度 **95.6** %

新たなネットワークを構築 **120** 団体

マスコミに取り上げられた団体 **69** 団体



- 事業評価報告書 -

● 目次

- P 1 はじめに
- P 2 WAM 助成とは
- P 3 WAM 助成の事業評価
- P 4 ヒアリング評価結果
- P 5 平成 28 年度助成実績
- P 6 特に優れた事例
- P24 優良事例一覧
- P25 平成 28 年度事業を振り返って
- P28 今後のWAM助成の充実に向けて
- P30 フォローアップ調査結果
- P32 平成 30 年度 募集要領等

※ 事業評価報告書は、WAM助成HPに掲載しています <<http://hp.wam.go.jp/>>

2 特に優れていると評価された事業について

平成 29 年度に実施したWAM助成の事業評価において、「特に優れている」と評価された事業は、以下の 9 事例です。WAM助成ホームページにおいて事例の詳細を掲載しています。

団体名・事業名	事業概要
1. 特定非営利活動法人 P and A-J <東京都> 『孤立の障害者高齢者を社会につなぐ ^{トラブルシューター} T S 事業』	障害者・高齢者等の社会的孤立や触法を防ぐことを目的に、当事者・家族のエンパワメントを図り、生活困窮からトラブルを起こす障害者を地域のネットワークを広げることで解決を目指した事業
2. 特定非営利活動法人 しまねコーチズ <島根県> 『「幸齢者へ」有福健康いきいき生活支援事業』	独居高齢者や買い物難民が増加する有福地区の高齢者が、安心して健康生活を送るための環境づくりを目的に、地域と団体と企業が三位一体で出張コンビニ&健康カフェやコラボ料理教室、訪問見守り買い物支援に取り組んだ事業
3. 特定非営利活動法人 ヒューマン地域振興協会 <大阪府> 『こどもエンパワー・地域連携協働事業』	孤立や生活困窮のリスクが高いひとり親家庭の支援を目的に、子どもの居場所として「あそびの広場」、「こども食堂」等を運営したほか、親に対して定期相談会の開催や訪問支援相談を行い、地域をつなぐを構築しながら継続的な支援を実施した事業
4. 認定特定非営利活動法人 ハーモニーネット未来 <岡山県> 『いのち まるごとプロジェクト事業』	ひとり親及び生活困窮者等が、安心して自分らしく生活し、子育てできる環境づくりを目的に、行政や県・市域を越えて多くの団体と連携し、居場所づくり・シェアハウス・フードバンク活動・子どもの貧困やDV被害研修会等、さまざまな支援活動を実施した事業
5. 特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝 <大阪府> 『生活困窮に陥った若者主体の地域づくり事業』	生活困窮状態にあって生きづらさを抱える若者に対し、社会的居場所「あおぞら」を活用した会食事業、フードバンク構築事業等の実践を通じて地域福祉拠点の定着を目指した事業
6. 長野こども療育推進サークル ゆうテラス <長野県> 『長野県重心児者在宅医療推進事業』	医療・福祉・教育の垣根を越えて、「多職種」、「多施設」による自立支援協議会や県の行政と協働して重症心身障害児者や医療的ケアの必要な子ども達の地域生活支援の仕組みづくりに取り組んだ事業
7. 特定非営利活動法人 サマリア <埼玉県> 『地域連携によりフードバンク活動を広域化する事業』	地域の中で「孤立」を防止するとともに、生活困窮状態から早期に生活再建できる仕組みとして、「食」のセーフティネットを広域で構築することを目指した事業
8. 認定 NPO 法人 難民支援協会 <東京都> 『難民の生活安定にむけた支援体制向上事業』	日本に住む難民の「医食住」を確保し、貧困脱却と福祉の向上を目指すとともに、経済的自立と共助、地域資源へのアクセスによって安定した生活を送ることのできる仕組みの構築を目指した事業
9. NPO法人 多文化共生教育ネットワークかながわ <神奈川県> 『多文化家族の貧困連鎖防止の為の支援事業』	多文化家族の貧困の連鎖を防止することを目的に、多文化家族の抱える生活面や教育面の課題を社会に顕在化させ、当団体の活動実績をもとに適切な支援方法を他地域の支援団体へ提供した事業

事業評価報告書は、WAMのHPに掲載しております。

『WAM助成 事業評価報告書』で検索

URL (http://hp.wam.go.jp/guide/jyosei/project/value_report/tabid/180/Default.aspx)